

「令和6年度技術協議会」を開催しました

去る令和6年8月2日（金）に茨城県水戸市の「水戸京成ホテル2F 瑠璃の間」において、令和6年度技術協議会を開催しました。

昨年度は、一般社団法人関東土地改良測量設計技術協会40周年記念式典行事と時期が重なることから、中止としたため2年ぶりの開催となりました。

当日は、「うだるような」暑さの中、また業務多忙の中にも関わらず、**25社 52名様のご参加**をいただきました。感謝申し上げます。

また、技術協議会は、農林水産省からは関東農政局農村振興部竹中設計課長様をはじめ3名様、茨城県農林水産部農村計画課から講師をお招きし、ご講演をいただきました。

※技術協議会スケジュールは以下のとおりです。

令和6年度技術協議会プログラム

一般社団法人関東土地改良測量設計技術協会

日 時 令和6年8月2日（金）13：00～16：50
場 所 〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73
水戸京成ホテル 2F「瑠璃」

議事	時間	講演内容等
受付	13：00～13：20	
開会	13：20～13：30	（一社）関東土測協会長開会挨拶
講演	13：30～14：10	茨城中部農地整備事業地区の事業概要について 関東農政局茨城中部農地整備事業所長 小野 亮 様
	14：10～14：20	休 憩
講演	14：20～15：00	那珂川沿岸農業水利事業地区の事業概要について 関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所長 瀬戸 太郎 様
	15：00～15：10	休 憩
講演	15：10～15：50	関東農政局の行う農業農村事業の概要について 関東農政局農村振興部設計課長 竹中 一行 様
	15：50～16：00	休 憩
講演	16：00～16：50	茨城県内の農業農村整備事業について 茨城県農林水産部農村計画課 技佐兼課長補佐（技術総括） 小倉 昌幸 様

※まず、最初に一般社団法人関東土地改良測量設計技術協会 山本会長の挨拶です。

只今ご紹介を頂きました「一般社団法人 関東土地改良測量設計技術協会」会長の「山本」でございます。

皆様方には、大変お忙しい中にも関わらず、本日の「技術協議会」に多数のご参加を頂きまして、誠に有り難うございます。

昨年は、40周年記念式典・祝賀会と時期が重複することから技術協議会の開催は見送りましたため、2年ぶりの開催となります。

当協会は、農業農村整備事業に係る事業費の確保及び地域コンサルタントの活用などの提案活動や、土地改良補償業務管理者、農業土木技術管理士等の資格試験受験者に対する講習会の実施、又は農業農村整備事業に係る技術者の技術力の向上及び技術者の育成などを行うことにより社会貢献をしているところでございます。

現在、56社の会員が登録しておりますが、より多くの登録を頂き、関東土測協の事業内容等を向上させなければならないと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、本日の講演は、関東農政局農村振興部設計課
竹中(たけなか)設計課長様

茨城県内で農業農村事業を実施している国営事業所の所長様として
那珂川沿岸農業水利事業所 瀬戸(せと)所長様
茨城中部農地整備事業所 小野(おの)所長様

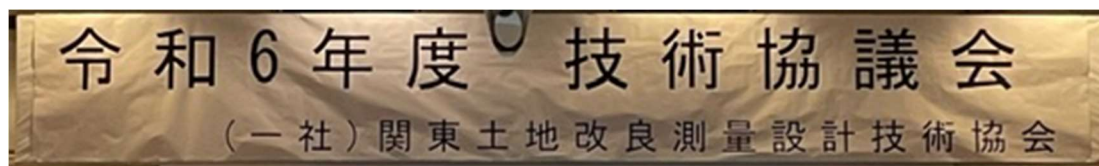
並びに、茨城県農林水産部農村計画課長の井坂様は、業務の都合によりご欠席の旨ご連絡があり、代理で小倉(おぐら)課長補佐様からご講演を頂くこととなりました。

公務多忙にもかかわらず、講師をお引き受け頂きましたことに対し、本席をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

誠にありがとうございます。

では、本協議会が実り多いものとなりますようご祈念致しまして、開会の挨拶に代えさせていただきます。

会場に掲示しました垂れ幕。

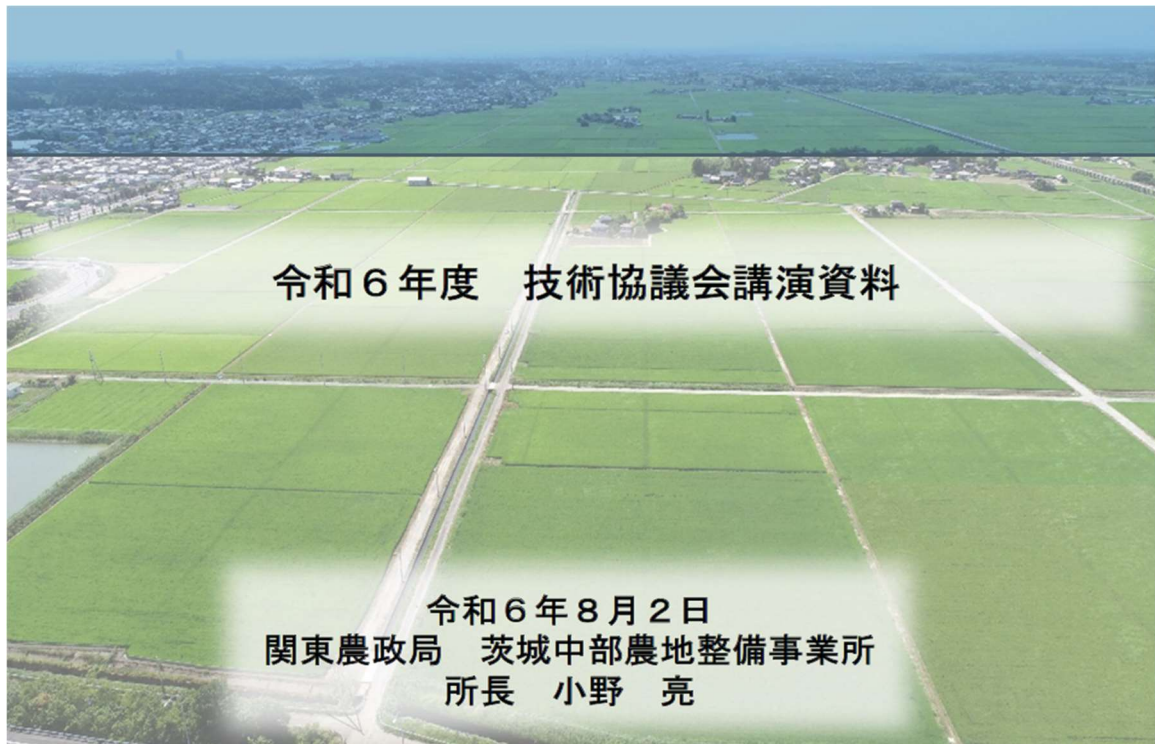


会場参加者の皆様の様子



最初のご講演は、関東農政局茨城中部農地整備事業所長 小野 亮 様
です。

題目は、「茨城中部農地整備事業地区の概要について」



講演内容は、以下のとおり

1. 茨城中部農地整備事業の概要
2. 背景 (①地域の概要)
(②地域農業の特徴)
(③地域の課題)
(④事業の効果)
3. 事業概要 (当初計画)
(進捗状況)
4. 事業の効果 (塩崎団地イメージ)
(生産性向上・維持管理の省力化)
5. 田んぼダムの取組 (概要)
(茨城中部地区内における検証)

講演の様子は、以下のとおりです。




6年度 技術協議会

一社) 関東土地改良測量設計技術協会

4. 事業の効果(生産性向上・維持管理の省力化)


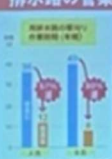
パイプライン化により水管理が省力化

パイプライン化(用水が毎日確実に安定供給されたこと)により、従来の1日3回水を回す必要がなくなり、ポンプの稼働がなくなり、コストが削減された。



排水路の管渠化により維持管理労力が大幅に軽減

排水路の管渠化により、定期的に行っていた夏刈り・夏上げ作業の労力が大幅に軽減(75%~80%減)された。また、ほ場内の水田干渉がなくなったことにより、従来より安全な作業環境に変わった。



11



続いてのご講演は、関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所長
瀬戸 太郎 様です。
題目は、「那珂川沿岸農業水利事業地区の概要について」
講演内容は、以下のとおり

国営那珂川沿岸農業水利事業
—実施状況とこれからの実施予定について—

令和6年8月
関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所

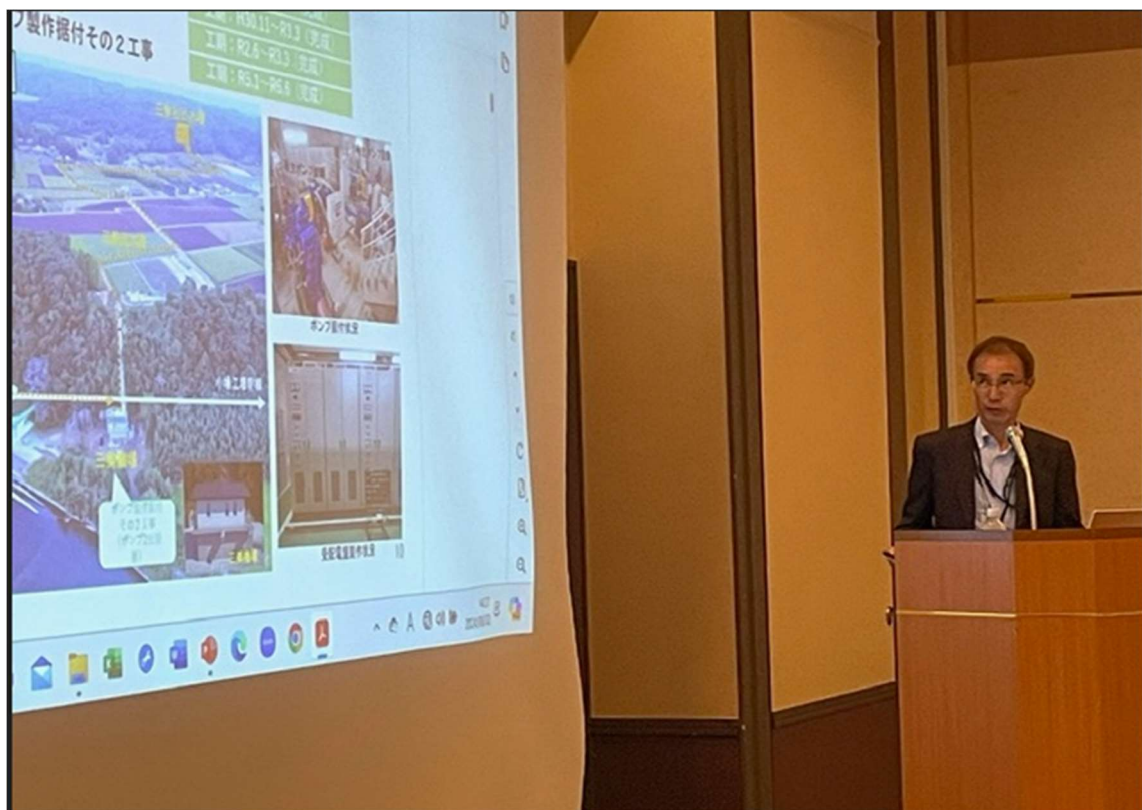
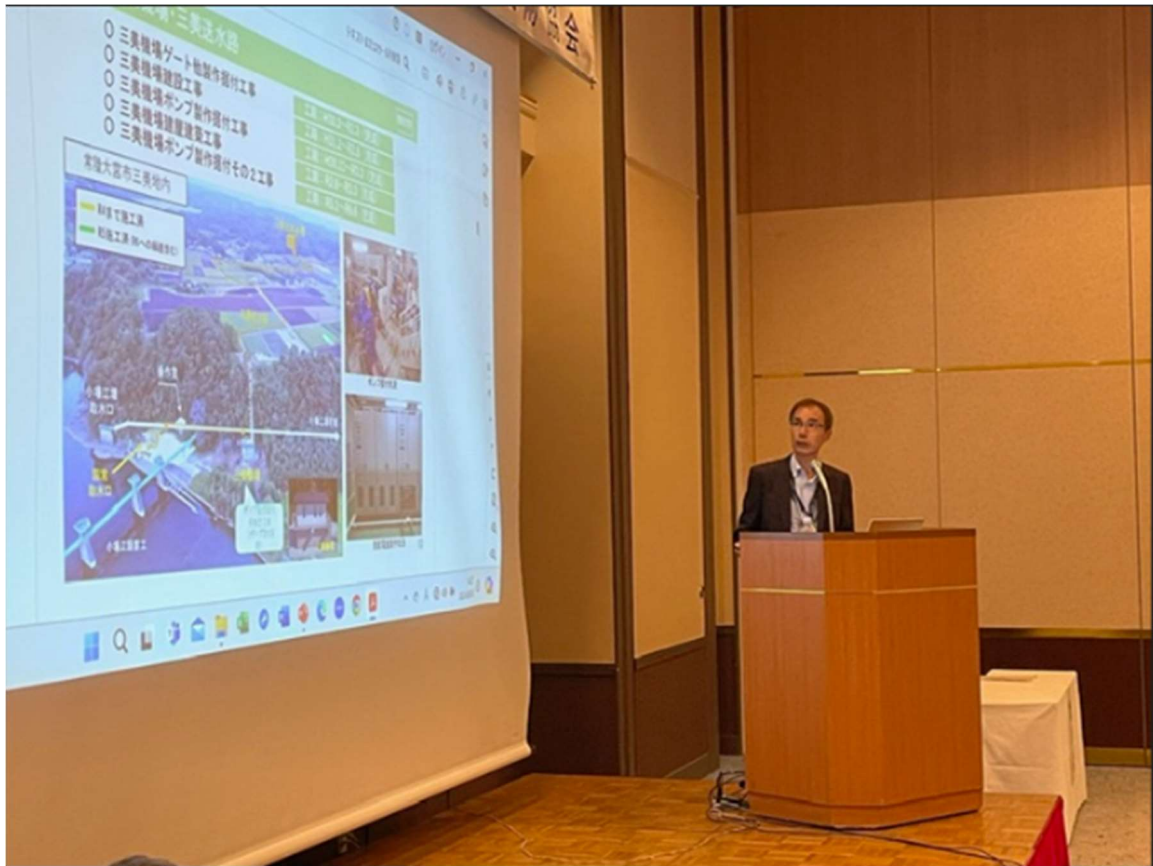
目次

1. 那珂川沿岸農業水利事業の概要	・・・	3
2. 事業実施状況	・・・	5
(1) 小場江頭首工		
(2) 那珂川揚水機場		
(3) 三美機場・三美送水路		
(4) 下江戸揚水機場		
(5) 赤沢揚水機場		
(6) 渡里揚水機場		
(7) 大杉山揚水機場		
(8) 水那幹線水路（鴻巣、南酒出、杉、堤）		
(9) 常北幹線水路		
(10) 内茨幹線水路		
(11) 柳沢機場・湊幹線水路		
(12) 小野幹線水路		
(13) 小場江堰幹線		
(14) 渡里送水路・渡里幹線		
(15) 千波湖送水路、備前堀機場・備前堀幹線		
3. 事業効果発現に向けて	・・・	35

R6 年度地域の教育機関等との連携活動（案）

—水戸農業高校、県立農業大学校、農業者等と連携した後継者の育成・確保—

講演の様子は、以下のとおりです。





続いてのご講演は、関東農政局農村振興部設計課長
竹中 一行 様です。
題目は、「関東農政局の行う農業農村整備事業の概要について」
講演内容は、以下のとおり

(一社) 関東土地改良測量設計協会 令和6年度技術協議会

令和6年度関東管内の国営事業実施状況 及び調査地区の概要等について

農林水産省(MAFF)
関東農政局農村振興部設計課
竹中 一行

1. 関東農政局管内の国営事業実施位置図（令和6年度）
2. 関東農政局管内の国営事業実施状況（令和6年度）
3. これまでの関東農政局管内国営事業（令和6年度）
 - (1) 関東管内国営事業地区における効果① 国営赤城西麓地区
 - (2) 関東管内国営事業地区における効果② 国営孺恋地区
 - (3) 関東管内国営事業地区における効果③ 国営笛吹川地区
 - (補足1) 笛吹川沿岸地区における地域経済等への波及効果
(ストック効果)
 - (補足2) 笛吹川沿岸地区における経済波及効果の詳細
4. 令和6年度 測量・建設コンサルタント業務等発注予定

5. 令和6年度 調査地区（地域）概要

1. 全体実施設計 (1) 天竜川下流二期地区
2. 国営土地改良事業地区調査 (1) 新利根側沿岸地区
(2) 鬼怒川中部地区
(3) 鏑川地区
(4) 中川上流地区
(5) 浜名湖北部二期地区
3. 地域整備方向検討調査 (1) 石岡台地地域
(2) 那須野原地域
(3) 渡良瀬川沿岸地域
(4) 中信平三期地域

講演の様子は、以下のとおりです。





最後のご講演は、茨城県農林水産部農村計画課 技佐兼課長補佐
小倉 昌幸 様です。
題目は、「茨城県の農業農村整備事業について」
講演内容は、以下のとおり

茨城県の農業農村整備事業 について

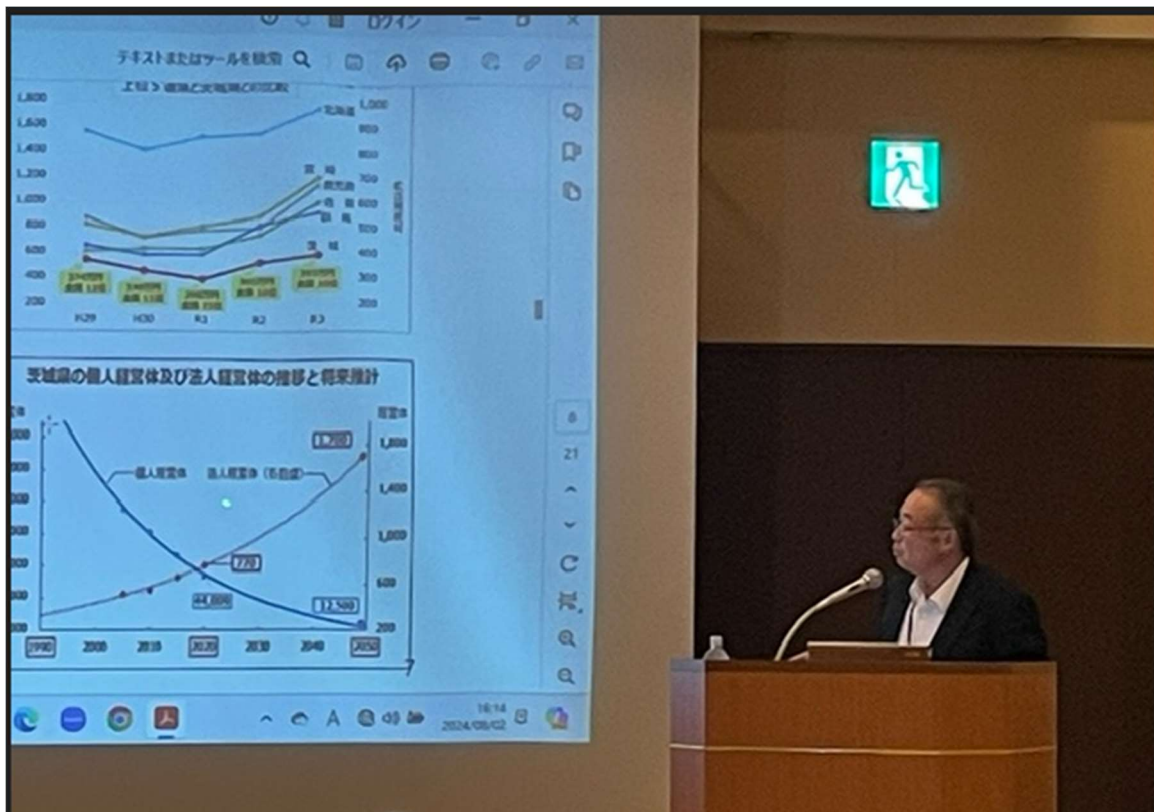
関東土地改良測量設計技術協会
令和6年度技術協議会

令和6年8月2日
茨城県農林水産部農地局農村計画課

本日の説明内容

1. 茨城県の紹介
2. 茨城県の農業
3. 茨城農業の将来ビジョン
4. 農業農村整備事業の状況
5. 県内の国営事業
6. 県営土地改良事業

講演の様子は、以下のとおりです。



最後に

上記が令和6年度技術協議会開催の様態です。

本日、ご講演をいただきました皆様に改めまして感謝申し上げます次第です。

また、ご参加いただきました会員様等各社の皆様、大変お疲れ様でした。

一般社団法人関東土地改良測量設計技術協会としては、今後とも関東農政局及び関東各県の皆様にご協力を賜りながら、来年度以降も継続的に本協議会を開催する所存です。

よろしくお願ひ申し上げます。